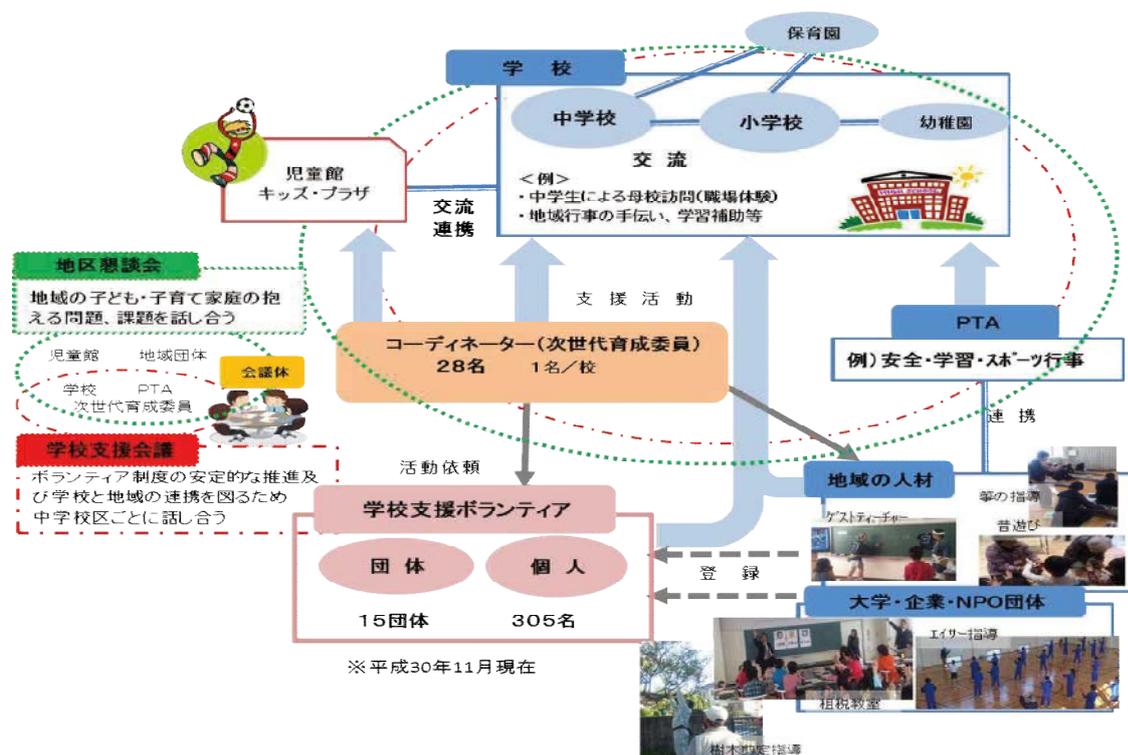


## ◆事業方針（計画等における位置づけ）

中野区教育委員会では、家庭と学校と地域が一体となって地域ぐるみで子供を育成し、「地域力」の向上と強化を図るしくみとして、平成23年度に学校支援ボランティア制度を創設し、地域人材の発掘等に努め、学校と地域の連携を進めている。

## ◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）



## ◆運営委員会

## ○学校支援会議

中学校区単位に設置（11校）。構成員は各小・中学校校長、PTA、学校支援ボランティア・コーディネーター。主に学校支援ボランティアの活動状況、学校ニーズの共有を図る。

## ◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

学校支援ボランティアの活動の様子を定期的に教育委員会ホームページで紹介。

## ◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

コーディネーター全体会及び研修会（年10回）。

学校支援会議は各中学校区で、年2回開催

## ◆成果

学校へのボランティア参加者数（平成30年度前期）

小学校（延人数） 12,432人（実人数 4,273人うち学校支援ボランティア登録者数188人）

中学校（延人数） 1,002人（実人数 265人うち学校支援ボランティア登録者数23人）

## ◆課題・展望

学校関係者や地域への制度の周知、学校ニーズにあった地域人材の発掘、コーディネーター人材の育成、学校支援活動を行うための基盤整備。